

宮大工新聞



宮大工が建てる自然素材の家「宮大工新聞」は、皆様と内田工務店を結ぶネットワークです。京都で修業し、文化財建物木工技能者認定を受けた宮大工棟梁が手掛ける、自然素材住宅のご案内です。安心安全な木材を使用し、宮大工の伝統の技が光る唯一無二の住宅を、皆様の手の届く価格で提供します。日頃聞けない、宮大工ならではの話しもたくさんお届けします。おたのしみ！！

厳寒の中、美しい屋根のための作業が続いています。



弊社で現在工事中の自得寺様では屋根の工事が進行中です。先日の大雪では、囲いの中にも雪が吹き込み、また、交通の乱れにより、一時作業が中断することにもなりましたが、その遅れを取り戻すべく頑張っています。

自得寺
改修工事
は今

現在、工事に従事している内田工務店の職人さんたちと記念撮影。



社寺建築で重要とされる要素の一つに「美しい外観」があります。もとより神社仏閣は、古より人々の心のよりどころとなる場所であり、それに相応しい佇まい、端正な姿が求められてきました。

建物における屋根は、人であれば「顔」または「髪型」のようなものであり、全体の印象を左右する大事なパーツ。軒先の反り、屋根のたるみ、箕甲の曲線など、いかに美しいプロポーションで見せるか、三次元の曲線を頭の中で描いて造るのは、伝統の技を熟知し、経験を重ねてきた宮大工棟梁の腕の見せ所でもあります。



肋骨の様に見えるのは、箕甲の下地の構型です。



構型に合わせて、幅の狭い小割棧を打ちつけて、美しい曲線を作ります。



箱棟の下地も完成。これから鬼板が取り付けます。今後をお楽しみに～

交換することになった片面の破風を残し、本堂の屋根下地工事はほぼ終了しました。この後、京都からお呼びした板金職人によって、半永久的に持つというチタン合金で屋根葺きが始まります。

インフルエンザに木造建築

日本の木が子どもを守る！



ここ数年、新しく建てられた学校の約7割が木造、または内装などに木材を多く使った建築になっているということをご存じでしょうか？

日本人は昔から「木の家」に住んできました。それは、それが私たちの心身に良いものであったからに他なりません。今、改めてその魅力が見直されています。

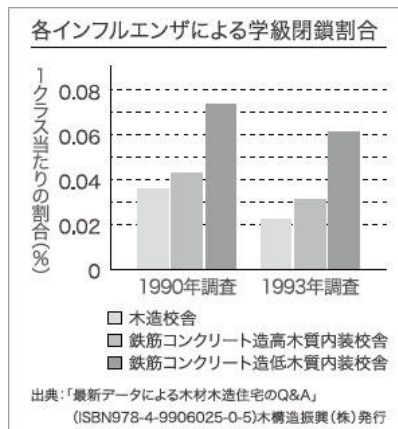
木造建築はインフルエンザにも強い。そのことは科学的にも証明されています。

インフルエンザの予防には、ウイルスが活動できないような環境にしておくことが大変に有効です。

インフルエンザウイルスは「乾燥」が大好き。空気が乾燥するは冬に流行するのはそのためですが、湿度50～60%の空気中では活動がストップしてしまいます。

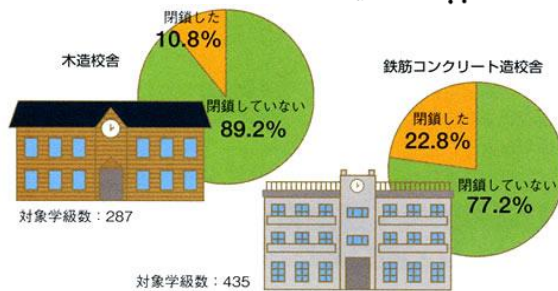
木材には湿度を常に55～60%に保とうとする特性があり、これがまさにこの条件にぴったりなのです。木材のような自然の呼吸をすることのないコンクリートの建物では湿度は20～90%の間で安定せず、暖房を使う冬場は特に乾燥し、それがインフルエンザの流行の一因になっています。

木造校舎のインフルエンザによる学級閉鎖は、コンクリート造の1/3～1/2という調査報告がされています。



香りのパワーで病気をノックアウト！

木の香りのリラックス効果で免疫力がアップし、病気の予防になっている可能性も言われています。杉の香り成分である「セスキテルペン」の抗菌作用は、杉の机といすを使ったクラスが他のクラスに比べて欠席が少なかったことで証明されました。



他にもいろいろ
子どもにやさしい
木造校舎のここ
がGOOD!

1. リラックスできる！

今、子どもはたくさんのストレスを抱えています。木には人間の気分を落ち着かせ、ストレスを軽減する作用があることが大学の研究でも明らかになっています。



2. 転ばない！

コンクリート造の建物に比べ結露が少ないため、すべて転ぶ事故が少ないという報告がされています。



3. 転んでも大丈夫！

木の持つ自然の弾性が転倒の衝撃を吸収してくれるため、子どもが転んだ時、大きなケガをする確立が低いのです。



もちろん
だからといって
廊下を走っては
いけません！

ご住所

お名前

- 1.メールで配信してほしい
- 2.郵送してほしい
- 3.配信・郵送を停止してほしい

希望番号

メールアドレス uchida@miyadaiku.jp
ファックス 0463-93-6591
(ファックスの場合はそのまま送信下さい。)

新規配信郵送や配信方法変更を希望される方はメール・ファックスにてお知らせ下さい。